

奇跡のフルーツ「ノニ」

水虫からガンまで



■ 目次

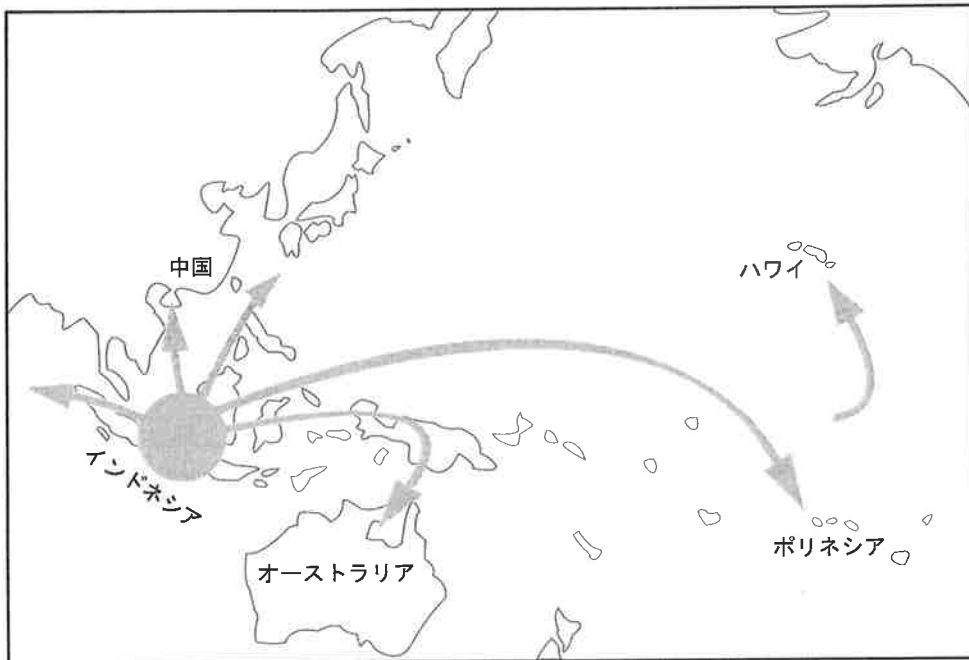
ノニとは	1
このような方へ	2
ノニジュースの飲み方	3
体験談(ガン、子宮筋腫)	4
体験談(うつ、性機能不全)	5
ノニの栄養成分(たんぱく質、炭水化物、脂質)	6
ノニの栄養成分(ミネラル、ビタミン)	7
日本癌学会総会記事	8
注目すべき近年における6つの研究	9



■ノニとは？

学術名：モリンダ・シトフォリア
日本名：八重山青木(ヤエヤマアオキ)

ノニは、インドネシアのセレベス島(現スラウェシ島)近くのモルツカ諸島原産の薬用熱帯植物です。ノニの原産地であるインドネシアは、その肥沃な土壌、3000メートル級の山々から湧き出す豊富な水、生育に適した気候、科学物質汚染のない環境はノニが生息する最も適した場所で、ノニは「ハーブの女王」という名で呼ばれ、古代約6千年前頃からインドネシアの人々に「自然治療薬」として愛され、その果実・葉は食用や薬用、茎・根は染色に使われてきました。その後、約2千年前頃に海洋民族と共に太平洋諸島(オーストラリア・ポリネシア・ハワイ等)に拡がり、現在、ノニは熱帯、亜熱帯地方に広く生息しています。



ノニは、約80種の植物が属するアカネ科の植物で「はっきりとした効能汎用性、自力で遠くの海岸まで広く分布できる卓越した繁殖能力」を持ち、非常に生命力が強く、成長が早い果実です。7~8mm.の種から、わずか9ヵ月ほどで人間の背丈ほどに成長し、実をつけます。ひとつの枝に、花、実、熟した実が同時にできます。年間を通じて花が咲き、実がなります。なんと年に4回以上同じ場所から実がなり、一年中収穫することができる地球上で最も生命力の強い植物なのです。

その歴史は、古代5千年以上前から、インドネシアの人々に「自然治療薬」として愛されてきたアカネ科の植物で、その果実、葉、茎、根あらゆる部位から健康効果の高いエキスを抽出することができます。

ノニの効果は解熱や鎮痛作用だけでなく、**便秘、高血圧、糖尿病、ガン、感染症**に至るまで、現在のあらゆる病気に効果が期待されています。

- ※ノニには**150種類以上もの栄養素**が含まれています。
- ※**免疫力、自己治癒力**を高める。(予防効果が高く、健康維持力が強い)
- ※**副作用**の心配がなく**幼児からお年寄り、妊娠中の方や授乳中の方**にまで愛用いただけ、薬とも安心して**併用**できます。

■このような方へ

<p>ガン (異常細胞を 元に戻す)</p>	<p>ノニの抗ガン作用に最も貢献しているのは『ダムナカンタール』という成分です。これは、異常な細胞の微小な異常(腫瘍)を正常に戻す働きがあります。様々なガン、特に初期のガンについて高い治癒効果をもたらすことはもちろんですが、細胞そのものを正常に保つ作用、ガン予防に大きな効果を発揮することも見逃せません。</p>
<p>糖尿病 (血糖値を下げる)</p>	<p>糖質代謝、いわゆる新陳代謝の異常・障害によって血糖中のブドウ糖濃度が高まる糖尿病には、ノニに含まれる『セロトニン』や『メラトニン』など体内のエネルギーを増強し各器官の機能を正常化させる成分が有効に働き、自然に血糖値を下げる事が確認されています。また、血管中のコレステロール増加によって起きる高血圧、動脈硬化などの合併症についてもノニ正常化作用で予防が可能です。</p>
<p>リウマチ (高い 鎮痛作用がある)</p>	<p>免疫低下が発病の要因と言われているリウマチは、現在も根本的な治療が確立されていない難病の一つであり、その特徴的な症状は「痛み」です。したがって、高い鎮痛作用を持つノニが痛みへの対象治療法に用いられていることは言うまでもありません。また、免疫システムや自然治癒力を高める働きが、リウマチの数値であるRF値を下げたという事例もあり、ノニによる根治療の可能性が注目されています。</p>
<p>アトピー性皮膚炎 花粉症 (免疫細胞を活性化)</p>	<p>ほこりや花粉、特定の食品、ダニなどに対する免疫力が低下し身体が過剰に反応する免疫不均衡が主な原因とされているアレルギー。その治療や予防には「免疫細胞」と呼ばれる2つの細胞(N T細胞、T細胞)の活性化を促すノニの免疫調整作用が役に立ちます。特に、アトピー性皮膚炎に効果があると言われているのは解毒作用と抗菌作用を備えた『スコポレチン』で、ノニを直接患部に塗る方法もあります。花粉症の方はエキスを数滴、鼻の中に垂らすのも効果的といわれています。もちろん、飲用するだけで改善したという事例もあります。</p>
<p>肝臓病 (細胞を活性化)</p>	<p>不規則な生活、過労や食生活の乱れ、過度の飲酒が原因といわれている肝臓病に対しても、ノニは有効に作用します。免疫の正常化、炎症の抑制、脂質代謝の改善といった働き、細胞を活性化させ、肝臓を保護する作用があることも見逃せません。肝炎の予防薬として役立つほか、飲酒の前にノニを摂取するとアルコールの吸収を抑えられるという効果も確認されています。</p>
<p>うつ病 ストレス (気分をつかさどる)</p>	<p>ノニに含まれる成分が『セロトニン』と『メラトニン』の機能を高める結果、気分を高揚させたり、睡眠、体温、排卵の調整を助ける作用があります。また、脳内ホルモンの一つβ-エンドルフィン(脳内ホルモン)を活性化させることも判明。それにより、鎮痛効果や、気分を爽快にすることも出来るといわれています。</p>
<p>便秘 (腸の働きを活性化)</p>	<p>消化器系全体を活性化させる成分を豊富に含んだノニによって腸の働きが活発になると便秘の症状にも当然、よい結果をもたらします。また、ノニの抗菌作用には腸の中にいるビフィズス菌や乳酸菌の減少を防ぐ働きがあることもわかっています。このほか、血管を広げて血液の流れをスムーズにする成分として知られる『スコポレチン』の作用が便秘を改善するという見方もあるようです。</p>
<p>高血圧 (血圧を調整して 血管を強化)</p>	<p>ノニの血圧調整作用を支えている成分は、代謝作用にも大きな働きを示す『スコポレチン』です。スコポレチンには本来、圧縮された血管を拡張する働きがあります。また、血管への負担が大きい高血圧症に対して毛細血管を強化する働きがあることも確認されており、治療のみならず、血圧上昇の予防にも役立つと言われています。</p>
<p>脳卒中 心臓病 (作用の バランスを保つ)</p>	<p>ガンと並んで「三大死因」に名を連ねるこれらの病気は、特に予防手段としてノニに含まれる『スコポレチン』という成分が有効に作用します。スコポレチンには抗菌作用の他に代謝活性をバランス良く保つ作用もあります。また、脳血管が破裂したり、詰まったりして起こる脳出血や脳硬化、くも膜下出血などは、圧縮された血管を膨張するスコポレチンの働きが正常な血圧に戻すことによって予防できるわけです。同様に、心筋梗塞や狭心症といった、血液・リンパ液など「水分」の代謝異常が引き起こす心臓病に対しても、スコポレチンの優れた代謝作用と心臓への負担を軽減する降圧作用が、高い予防効果を発揮します。また、ノニには抗菌作用を持つ『アントラキノン』という成分が含まれ、ブドウ球菌による心臓感染にも有効であることがわかっています。</p>

■ノニジュースの飲み方

病名	1日の摂取量の目安	効果発現	備考
ガン	300~500ml.	症状により異なります	ダムナカンタールの働きにより進行が止まったり、改善されます
高血圧	120~180ml.	1ヶ月頃~3ヶ月	スコポレチンの活性 =血管拡張作用
リウマチ	120~200ml.	2ヶ月頃から感じて、6ヶ月過ぎからよくなったと自覚します	スコポレチンが免疫機能を強化
通風、痛み、関節炎 (その他、頭痛、神経痛など)	120~180ml.	1ヶ月半頃から2ヶ月	β -エンドルフィンの活性効果
心臓病	120~180ml.	3ヶ月頃~5ヶ月	スコポレチンによる 血流の正常化
体力減退、 精力減退、 元気の欠如	120ml.	1ヶ月頃~2ヶ月	血流の正常化
アトピー性皮膚炎、 アレルギー	120~180ml.	2ヶ月半頃から2ヶ月	スコポレチンが免疫機能を強化
糖尿病	120~180ml.	7ヶ月頃~8ヶ月	スコポレチンが免疫機能を強化
睡眠障害、うつ病	120~180ml.	3ヶ月頃~5ヶ月	メラトニンやセロトニンの 活性作用
消化器障害、 呼吸障害、 腎臓障害	200ml.	3ヶ月頃~5ヶ月	アントラキノンによる 消化器機能の促進
その他、 症状が気になる方	120~180ml.	症状により異なります	—
健康維持	60~120ml.	—	—

※上記、1日の摂取量の目安を朝晩に分けて空腹時に飲むことをお勧めします。

(栄養素は小腸で吸収されるため、空腹時に飲むと、早く小腸に達します。)

※特に就寝前に飲むと相乗効果は大きくなります。

※胃が痛くなる人、又は違和感を感じる人は、水を飲んでから、もしくは食後にお飲みください。

※人によって、改善の時期・期間は異なります。



花、実、熟した実がひとつの枝に、同時にできます。(植物の中でも非常に珍しい生態系をしている)

放射線と併用でガン消失

のどの入り口近くに発生する「軟口蓋ガン」は食道や胃に転移しやすいガンである。北海道江別市の自営業・杉野勲さん(64歳=仮名)の軟口蓋ガンが発見されたのは、今年の3月中旬。ガンは白っぽい球状に盛り上がっていて、家族も肉眼で確認できるほど。すぐ入院し1週間にわたり転移の有無を徹底的に調べ、その後まず放射線でガンを小さく固めてから抗ガン剤を投与し、その上で手術をする治療計画を立てられた。娘さんは(35歳)語る。「でも検査の間、何もしないのは怖くて、ノニの果汁を飲ませようと担当医に相談したら、了解をいただいて、すぐに飲ませ始めました。1回100ml.を1日に4回、それにノニでうがいもさせました。」ノニを飲み始めてから2日目にガンの腫れが引き始めて食べ物が飲み込みやすくなり、1週間目にはガンの大きさが3分の1になる。形もだらりと垂れ下がったようになったという。「36回の予定で放射線治療が始まったのですが、2回目でガンは早くも2分の1になり、28回目で肉眼では全く見えなくなりました。そして35回目で医師に“ガンは完全になくなった”といわれ治療は終わったのです。」もちろんノニだけで改善したとは言いきれない。だが、杉野さんは抗ガン剤の投与も手術も行わず退院して、今も毎日ノニを手放さないという。

医師も驚くほどの効果

ノニが6千年も前から「神の贈り物」と呼ばれてきたのは、これ一つでほとんどの病気に対応できるということからだった。1900年代になってアメリカを皮切りに西欧社会に入ってきてから、それが医学的にも実体験的にも間違いではなかったことが証明され、ノニは機能性健康ジュースとして日本にも入ってきました。横浜市・田宮良子さん(43歳=仮名)は9年前に発見された子宮筋腫を薬で抑えてきたのだが、昨年12月に直径10cmになって、慌ててノニを飲み始めた。「1ヵ月半後、MRI検査を受けたら直径8.6cm×9.7cmに縮まっていて驚きました。腹部などの症状もなくなったので、以後薬をやめノニだけで様子を見ているのですが、今も医師も驚くほど調子が良いです。」良子さんのご主人もほぼ時を同じくしてノニを飲んだ。子供のころから喘息などアレルギー体質で、長くアトピー性皮膚炎に苦しんできており、それがノニを飲んでから1ヵ月半目くらいから改善し、好悪を繰り返しながら皮膚は確実に柔らかい新しいものに変わりつつあるという。13歳になる息子の喘息も、ノニで咳の収まりがよくなったという。「ノニだけの効果かどうかは断定できませんが、良い方向に向かっています。先を楽しみにこれからも飲んでいくつもりです。」

気分の高揚はなぜ起こるのか

鎌倉健康院・高尾昭紘氏(61歳)は多くの患者さんにノニを飲んでもらううちに、面白いことに気付いた。「つらい症状に打ちひしがれてやって来る患者さんは、大体ゆううつな表情をしているのですが、ノニを飲んでいただくと2~3日で気分が優れてきて明るさを見せるようになるんです。病状がよくなると当然ですが、まだ改善が進んでないのにノニで活力がわいてくるんです。典型的なのはうつ病の方です。従来カイロプラティックを中心にマッサージやリラクゼーション治療を行ってもなかなか治りにくかったのですが、ノニを併用していただくと、急速にほぐれて元気が出てくるのです。そして、間もなく躁※(そう)の状態に入っていまして急速に改善していくのです。完全に治った方が2人もいますよ。」ノニの飲用者のほとんどに起こる気分の高揚について、アメリカのラルフ・ハイネスキー博士はそのメカニズムを次のように説明する。鎮痛や気分の高揚感をもたらすエンドルフィン(内因性モルヒネ様物質)が、脳の下垂体などに分布しているのだが、それを取り入れる受容体(アンテナのようなもの)に隣接する受容体にアントラキノンが吸着するため、エンドルフィン受容体の感度が上がりエンドルフィン作用が起こるのではないかということだ。

※気分が高揚し意欲の亢進(こうしん)や思考の促進がみられる精神状態。

抜群の「性機能」回復効果

「性は生なり」という言葉がありますが、ノニは生命力を活性化する一方で、性的機能を高める働きにも実に優れています。性機能不全の治療にノニは欠かせません。」のノニにはバイアグラをもしのぐ性機能改善効果があるといわれる。アメリカでは性機能障害者(勃起不全など)にノニを与えたところ、88%の人に効果があったという報告があります。これまで絶えていた朝立ちがあり勃起力も強くなった。セックス回数が増えた。など得に中高年男性からの声が多かった。ノニに含まれるスコポチレンの血管拡張作用こそ性機能改善の源泉で、これはバイアグラの薬理と同じ効果があり、さらにスコポレチンはセロトニンと結合するため、セロトニンが中枢神経の緊張をゆるめ気分がリラックスして性機能が全開になる。バイアグラのように副作用がないのも安心である。



■ノニの栄養成分

④ミネラル

ヨード、セリンは不検出、モリブデン、クロム、塩素、フッ素、銅は分析せず

成分(アミノ酸)	機能
ナトリウム	細胞外主要カチオン、体液恒常性維持 欠乏症：筋肉の痙攣・障害、嗜好減退 過剰摂取：高血圧
カリウム	細胞内主要カチオン、体液恒常製維持、筋収縮・神経信号伝導 欠乏症：嘔吐・下痢・下剤乱用で喪失、糖尿病、腎不全で欠乏。 筋肉麻痺、腎不全、脱力感、低血圧 過剰症：筋力低下
リン	骨・歯の形成、たんぱく質、脂質・核酸と結合、ATPの要素 欠乏症：骨量減少、カルシウム流出 過剰摂取：骨壊疽
鉄	赤血球、筋力のヘム成分、酸素運搬 欠乏症：貧血 過剰症：鉄沈着、肝硬変
カルシウム	骨・歯の形成、筋肉収縮、血液凝固、神経興奮性 欠乏症：骨・歯の脆弱化、テタニー 過剰症：食欲不振、腎臓結石
マグネシウム	骨・歯の形成、ATPase、糖代謝酵素の活性化、たんぱく質合成 欠乏症：筋肉痙攣・収縮・痙攣 過剰症：下痢、心臓疾患
亜鉛	インシュリンの構成成分、胃液塩酸成分 欠乏症：成長障害、味覚障害、免疫低下、生殖機能障害
マンガン	酸素類の活性化、骨生育促進、SOD成分 欠乏症：不妊症、成長減退、骨格変形

⑤ビタミン

ビタミンA、ビタミンD：不検出

成分	機能
水溶性ビタミン	糖代謝に関する補酵素
ビタミンB1(サイアミン)	欠乏症：脚気、神経・筋肉障害
ビタミンB2(リボフラビン)	発育ビタミン、FMN、FADの補酵素
ビタミンB6	欠乏症：口角炎、口唇炎、脂漏性皮膚炎
ビタミンB12	アミノ酸代謝、神経伝達物質合成の補酵素
ビタミンC	欠乏症：悪性貧血
葉酸	抗壊血病作用、抗酸化作用、ガン・白内障予防、
パントテン酸	鉄吸収促進、コラーゲン合成
ビオチン	欠乏症：奇形、巨赤芽球性貧血
ナイアシン(ニコチン酸)	CoA成分として糖・脂質代謝
コリン	欠乏症：成長停止、抗体生産・生殖機能障害
	各栄養素代謝
	欠乏症：脱毛、成長抑制
	NDA, NADPとして酸化還元酵素の補酵素
	欠乏症：ペラグラ。下痢、食欲不振、知能低下
	ビタミンB複合体のひとつ、抗脂肪肝因子
脂溶性ビタミン	不飽和脂肪酸の抗酸化
ビタミンE(α -トコフェノール)	欠乏症：感覚障害・小脳失調、生活習慣病
ビタミンK1(フィロキノ)	血液凝固、骨形成
	欠乏症：血液凝固不全

■ノニの栄養成分

①たんぱく質

成分(アミノ酸)	機能
アルギニン、リジン、 ヒスチジン、フェニルアラニン、 チロシン、ロイシン、 イソロイシン、メチオニン、 バリン、アラニン、 グリシン、プロリン、 グルタミンサン(グルタミン) セリン、スレオニン、 アスパラギン酸(アスパラギン) トリプトファン、シスチン	たんぱく質合成の素材 細胞基本成分 酵素 ホルモン 結合繊維 アルブミン・グロブリン エネルギー産生 糖合成 脂肪酸合成

②炭水化物

成分	機能
食物繊維 水溶性繊維 不溶性繊維 糖 (果糖、ブドウ糖など) イノシトール 酢酸 エタノール	抱水能力大、胆汁酸、脂肪類の吸着 大腸常在菌による分解で短鎖脂肪酸合成 エネルギー生産現、脂肪合成 筋肉糖、ビタミンB複合体 抗脱毛作用 エネルギー産生源

③脂質

成分	機能
脂肪酸 6:0カプロン酸(16.5%) 8:0カプリル酸(46.6%) 10:0カプリン酸(1.7%) 12:0ラウリル酸 14:0ミリスチン酸 15:0ペンタデカン酸 16:0パルミチン酸 16:1パルミトオレイン酸 17:0ペプタデカン酸 18:0オレイン酸 18:1(n-6)リノール酸(必須脂肪酸)(3.7%) 18:2(n-3)α-リノール酸(必須脂肪酸)(2.5%) 20:0アラギジン酸 20:1イコセン酸 24:0リグノセリン酸 ステロール カンペステロール ステグマステロール β-システロール(56.7%) イソフコステロール	中鎖脂肪酸(6:0-10:0) 肝・膵・消化機能低下時でも吸収され、肝臓でのエネルギー源 6:0-10:0を含む食品 パーム油、ヤシ油、乳製品、人乳 PGやLT合成による特徴的な生理活性 リノール酸の機能抑制 EPAとDHA素材 植物ステロール コレステロール吸収阻害 ホルモン素材

Proceedings

Fifty-Eighth Annual Meeting of the
Japanese Cancer Association

September 29–October 1, 1999

Hiroshima

Vol. 90 Supplement

Japanese Journal of Cancer Research

日本癌学会総会記事

第58回総会（広島）平成11年9月29日～10月1日

1398 アカネ科植物 *Morinda citrifolia* 果実の発ガン抑制作用について（第2報）：木島隆雄¹，高崎みどり¹，徳田春邦²，西野輔翼²，（¹京都医大，²京都府立医大・生化）

Chemopreventive Activity of *Morinda citrifolia* (2):
KONOSHIMA Takao¹, TAKASAKI Midori¹, TOKUDA Harukuni²,
NISHINO Hoyoku², (1 Kyoto Pharmaceutical University, 2
Biochem Kyoto Pharmaceutical University of Medicine)

【目的】天然資源による発ガン予防の観点から、種々の植物成分の発ガン抑制効果を検討してきた。その一環として、ハワイ諸島をはじめとする南太平洋諸島においてノニ (NONI) と称される民間薬、*Morinda citrifolia* の果実について検討を加えてきた。既に、DMBAをイニシエーター、TPAをプロモーターとするマウス皮膚二段階発ガン実験において、本果実乾燥粉末のエキスが、塗布・経口摂取いずれにおいても顕著な発ガン遅延並びに抑制効果を有することを明らかとした。一方、生体内における一酸化炭素 (NO) の過剰な発生は発ガンの原因ともなることから、NOによる発ガンに対する本果実の効果も検討した。【方法及び結果】NOドナーであるNOR 1 (390 nmol) をイニシエーター、TPA (1.7 nmol) をプロモーターとし、イニシエーション処理前後2週間のみ抜見エキスを摂取させる群と、通常の飲料水のみを摂取させる群における、腫瘍の発生を比較した。その結果、飲料水のみコントロール群では10週間後に全てのマウスに腫瘍が発生したが、NO NIエキスを摂取した群では15週間後でも約50%の発生率であった。

日本癌学会



■注目すべき近年における6つの研究

- 研究が行われた代表的な大学 -

- [アメリカ] スタンフォード大学／カリフォルニア大学ロサンゼルス校／
ミネソタ大学／ ハワイ大学
- [イギリス] ロンドンユニオンカレッジ
- [フランス] メス大学
- [日 本] 慶応大学／千葉大学／長崎大学／信州大学

- 代用的な研究報告について -

1. [Cancer Research]掲載 2001年発表
研究機関：ミネソタ大学(アメリカ)ホームル研究所
研究者：リュウG, ボードA, マWY, サングS, ホーCT, ドンZ
※ノニに含まれる2つの新しいグリコシド(配糖体)は、マウスの表皮細胞網JB6細胞のAP-1トランス活性化(1つの遺伝子生命体が異なる遺伝子を活性化させる状況)と、細胞の形状変換を制御する。
2. [AIDS Patient Care STDS]掲載 2001年発表
※ノニは、エイズ感染によって免疫機能が低下した結核菌感染者の発病を抑制する作用がある。
3. [Proceedings of the Western Pharmacology Society]掲載 1999年発表
研究機関：ハワイ大学(アメリカ)ジョンA. バーンズ医学部 薬理学部
研究者：Hirazumi A, Furusawa E
※免疫調節製が、ノニの抗腫瘍活動を助ける。
4. [FEBS Letter]掲載 1999年発表
研究機関：千葉大学 医学部 生化学科
研究者：Hiwasa T, Arase Y, Chen Z, Kita K,
Umezawa K, Ito H, Suzuki N
※ノニに含のダムナカンタールは、LCK, Src, Lys, 上皮細胞成長因子レセプターといったチロシン・キナーゼに強力な抑制力を持つ。
5. [Cancer Letter]掲載 1993年発表
研究機関：慶応大学 理工学部 生化学科
研究者：Hiramatsu T, Imoto M, Koyana T, Umezawa K
※ノニに含まれるダムナカンタールが、RAS細胞(悪性腫瘍の前兆がある細胞)を正常細胞に変化させる。
6. [Planta Meddddica]掲載 1990年発表
研究機関：メス大学(フランス)生薬学研究所
研究者：Younos C, Rolland A, Fleurentin J,
Lanhers R, Mortier F
※マウスを使ったノニの鎮痛効果の証明



川は、大通りの中央を流れ、
その両側には命の木があって、
年に十二回実を結び、
毎月実を実らせる。

そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。

「新約聖書」ヨハネの黙示録 第22章 2節 より